

子育て なんでも相談室

Q 3歳になった息子はすぐにママ、ママと甘え、私のそばから離れません。先日、主人の実家に行ったとき、ママ、ママといつも私を探す息子に、しゅうとめが「ママのどこがいいの」と言っていたのが、ドア越しに聞こえました。しゅうとめとの仲は良くも悪くありませんが、そんな風に思われていたのかと思うとショックです。

A 「ママ、ママって、あんなママのどこがそんなにいいの？ あなたも変わっているわねえ」。しゅうとめさんがお子さんに言った言葉が、そんな風に聞こえたなら、私は大間違いだと思いますよ。しゅうとめさんは、恐らく「いつもママ、ママって、本当にママが好きなのね。ママのどんなところが好きなのかな？ おばあちゃんに教えて」と言いたかったのではないのでしょうか。

「どこがいいの」「何でそんなことするの」「いつまでやってるの」など、質問形で言ったときは、確かに相手をバカ

しゅうとめのひと言がショック

にしたり、文句を言いたい場合が多いものです。だからこそあなたもショックを受けたのでしょう。しかし、もしも言葉通りに取ると、それらの言葉はすべて単なる質問文です。

机に上がっている子供に「どこに上がってるの」と言うと、「机」と答えることがあります。夜遅くまでゲームをしていて「何時だと思ってるの」と言われ、「11時」と答えた子供もいます。小さな子供は、その言葉の奥を探らず、言葉通りに取る癖があるのでそうなるのですが、お子さんもそのとき、しゅうとめさんの言葉を深読みせず、そのまま取っています。「どこがいいの」と聞かれ、ママのいいところを得意げに話したのではないのでしょうか？

そのときのしゅうとめさんの言葉の頭に「あんな」の3文字が付いていなかったのなら、あなたも言葉通り素直に取ればいいと思いますよ。私はしゅうとめさんがその言葉をお子さんに言ったとき、笑顔で言っていたような気がします。あなたに文句があるどころか、きっとあなたを大好きなんですよ。

(こどもコンサルタント 原坂一郎)